

- そばの二期作による収量向上と他品目栽培や、6次産業化による多角化経営を組み合わせ、経営の安定化を実現。他産業と同等の雇用環境を整備することで雇用の確保を進めるほか、障害者に対しても就労の機会を提供。

基本情報

- 所在地：長野県松本市
- 選定表彰：
 - ・第53回日本農業賞 個人経営の部 農林水産大臣賞（R5）
 - ・農林水産祭 多角化経営部門 日本農林漁業振興会会長賞（R6）
- 主力商品・イベント：
 - ・農産物（そば、トマト、大豆等）
 - ・そばの加工品
- 活用した支援施策：
 - ・多面的機能支払交付金（～R6）
 - ・畑作物の直接支払交付金（～R6）
 - ・水田活用の直接支払交付金（～R6）

取組の概要

- 離農する農家の農地や耕作放棄地を引き受けて農地を拡大し、夏と秋に収穫する二期作により収量を高めたそばの生産を中心としつつ、経営の安定化に向け、他品目栽培や、自社の加工施設での加工品製造をするほか、飲食店や土産物店も運営。
- 拡大する農地に対応するため、機械化を進めるほか、センサーからの情報による収穫適期予測やクラウドサービスによる農地・作業管理等、ITを活用し効率化も推進。
- 他産業と同等の雇用環境（給与水準や休日）を整備し、農業高校や大学からの新卒者を中心に雇用。
- 就労継続支援A型事業所を設立し、^{けいはん}畦畔除草や収穫作業、カット野菜加工等を委託して、障害者の就労の場を提供。



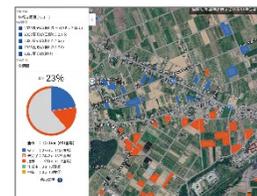
耕作放棄地の整備



そば畑と従業員

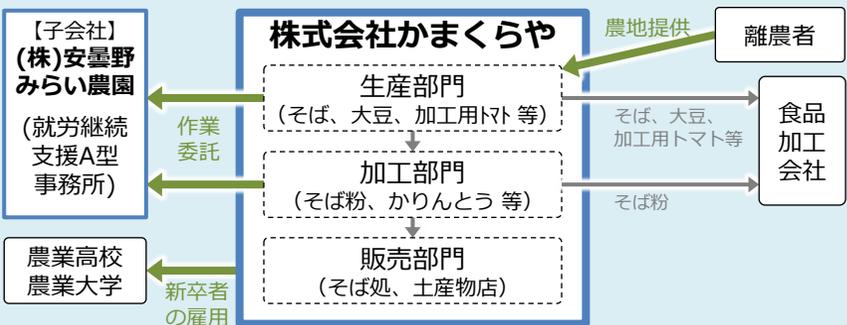


そばのかりんとう



圃場管理アプリ

体制図



取組の成果

- 農地面積 : 18ha (H22) → 230ha (R6)
- 農作物の売上 : 約1.0億円 (R2) → 1.8億円 (R6)
- 加工品・販売部門の売上 : 約3,600万円 (R2) → 約7,000万円 (R6)
- 従業員数 : 4名 (H22) → 34名 (R6)
- 就労継続支援A型事務所の利用者数 : 6名 (R3) → 13名 (R6)

ウェブサイト ▶ <https://www.kamakuraya-soba.com>

○長良川上中流域で盛んな鮎を中心とした内水面漁業と、鵜飼漁等の伝統的な漁法や鮎を使った郷土料理等を継承するため、関連商品の認定制度や「あゆパーク」を通じた普及啓発や情報発信に取り組む。清流の保全により、美濃和紙や郡上本染などの伝統工芸の継承にも貢献。

基本情報

- 所在地：岐阜県長良川上中流域（岐阜市、関市、美濃市、郡上市）
- 選定表彰等：世界農業遺産認定（H27.12認定）
- 主力商品・イベント：
 - ・人の生活、水環境、漁業資源が連環する里川のシステム「長良川システム」
 - ・清流長良川の恵みの逸品（鮎加工品等）
 - ・清流長良川あゆパーク
 - ・世界農業遺産「清流長良川の鮎」体感モデルツアー
- 活用した支援施策：
 - ・内閣府 地方創生交付金

取組の概要

- 世界農業遺産認定を地域振興に活かすため、「清流長良川の鮎」の普及啓発や保全・継承につながる農林水産物をはじめとした関連商品を「清流長良川の恵みの逸品」として認定する制度を創設。
- 「清流長良川あゆパーク」を世界農業遺産「清流長良川の鮎」の情報発信の拠点として活用し、川と魚に親しむ体験学習を通じて、鮎漁業など水産業の振興・発展を図る。
- 長良川システムへの理解を深めるため、世界農業遺産「清流長良川の鮎」体感モデルツアーを実施。



伝統的な漁法「鵜飼」

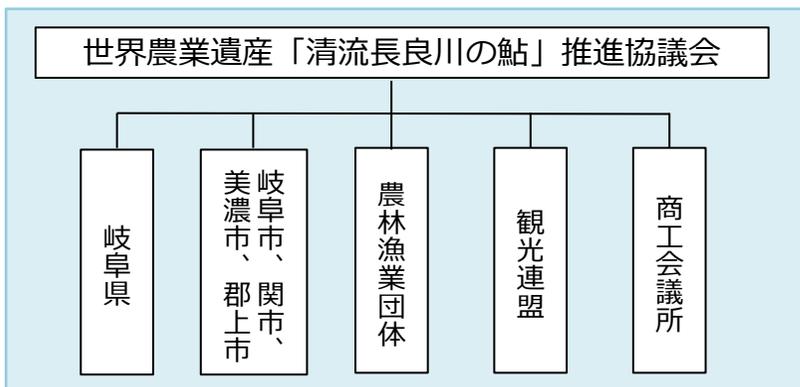


清流長良川あゆパーク



体感モデルツアー

体制図



取組の成果

- 清流長良川の恵みの逸品認定商品数：55商品（R4.7）
- 清流長良川あゆパーク来場者数：69万人（R5.2）
- モデルツアー参加者：65人（R3.11）

地域資源：農林水産物

事業分野：食品、観光・旅行、福祉

事業主体：加工事業者、宿泊事業者、農林漁業者、NPO等

○飛騨地域の伝統食である「えごま（あぶらえ）」を農家、福祉事業所に呼びかけて栽培し、実から搾油した「えごま油」を通販等で受注生産。高山市の「飛騨高山あぶらえ研究会」と連携して生産拡大と地域の所得向上に貢献。

基本情報

- 所在地：岐阜県高山市
- 選定表彰等：
 - ・「ぎふ女のすぐれもの」(R4認定)
 - ・第6回「ディスカバー農山漁村の宝」東海農政局選定 (R1)
 - ・メイド・バイ飛騨高山認証 (H30)
 - ・「飛騨・美濃すぐれもの」(H29認定)
 - ・総合化事業計画 (H29.2 認定)
- 主力商品・イベント：
 - ・飛騨生搾りえごま油
 - ・飛騨えごまパウダーセット
 - ・民宿（自社経営）での料理提供
- 活用した支援施策：
 - ・H29、30ものづくり補助金

取組の概要

- 飛騨地域の伝統食である「えごま（あぶらえ）」の栄養分と寒冷高地でも栽培でき獣害を受けにくいという利点に着目し、平成27年に4aの畑で栽培開始。
- 平成21年設立の「飛騨高山あぶらえ研究会」と地域の福祉事業所を中心に栽培面積が拡大、現在、飛騨地域の農家等約100人から買い取り。
- 農家と障害者の収入源として取組を促進することで耕作放棄地の解消に寄与。
- 事業当初はえごまの実を販売していたが、平成29年から低温圧搾した「えごま油」を販売。その後、搾り粕を使用したパウダー等の加工商品を開発。通販を中心に自社ECサイト等で全国的に珍しい受注生産での「生搾りえごま油」を販売。



えごま畑の景観

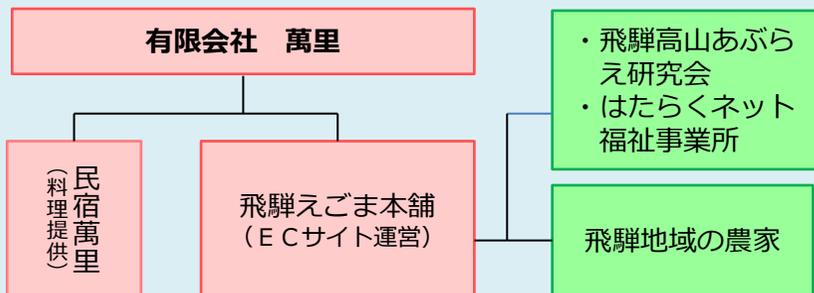


えごまの6次化商品



搾油作業風景

体制図



取組の成果

- 農産物、6次化商品の売上：27.5万円 (H27) → 3,000万円 (R4)
- 買取農家数：4人 (H27) → 102人 (R4)
- 買取数量：0.05 t (H27) → 2.8 t (R4)

ウェブサイト▶飛騨えごま本舗 <https://hidaegoma.jp/>
 民宿萬里 <https://banri.com/>

株式会社 もみじかえで研究所

地域資源：農林水産物（食用もみじ）

事業分野：食品、健康・医療

事業主体：農林漁業者、協議会、大学等

○多治見市を世界一の「もみじ」の町にすることを旨とし、耕作放棄地や遊休農地、山林の非利用斜面に「もみじ」を植え、「もみじ葉」を原料とした商品の製造・販売を実施。

基本情報

- 所在地：岐阜県多治見市
- 選定表彰：
 - ・豊かなむらづくり全国表彰事業・農林水産大臣賞受賞（R2）
 - ※同研究所が中心となり設立した多治見三郷活性化協議会が受賞
- 主力商品・イベント：もみじ加工品
- 活用した支援施策：
 - ・総合化事業計画認定（H28、R3）
 - ・農山漁村発イノベーション推進支援事業（R4～）

取組の概要

- 日当たりや水はけが悪く農業に向かない耕作放棄地や遊休地、荒廃した山林を借り受け、食用もみじを栽培（5ha、4千本）。
- 食用もみじを使用し、「もみじ茶」や「もみじエキス」、「もみじサイダー」、「ドライもみじ葉」等の加工品の開発・販売を実施。海外展開を見据えた新ブランド「MapleLaboratory」も創出。
- 今後、もみじ葉を使った「スイーツ」や「ヘルスケア商品」などの開発を自社ならびに地域の独自技術を持つ団体と取り組み、更なる地域雇用の創出と地域の発展を目指す。地域製造者とのスイーツ製造、近隣の大学や企業との機能性食品・コスメの共同研究開発を行う。



もみじ茶とドライもみじ葉



もみじサイダー

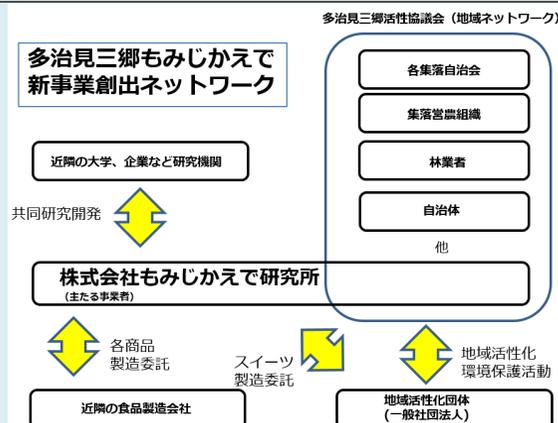


もみじスイーツ（ひまり 緋鞠）



カエデ属植物の研究

体制図



取組の成果

- 売上高：5.3百万円（H28）→ 8.5百万円（R4）
- 雇用：3名（H28）→ 6名（R4）
- 生産者所得（時給）の向上：約870円/人（H30）→ 約1,150円/人（R5）
- 耕作放棄地、遊休農地、荒廃山林の農地としての再活用：3ha（H28）→ 5ha（R4）
- もみじ葉の生産量：0.55t（H28）→ 1.5t（R4）
- 自社商品の商品数：5（H28）→ 15（R5）
- 輸出国：0（H28）→ 7（R5）

ウェブサイト▶ <https://www.momijikaedelab.jp/>

- 道の駅内に加工施設を設けて、農産物の加工・製造・販売と農業者の商品開発を支援。
- 地域の食・食文化、農林水産業及び再生エネルギー施設等をめぐるSDGsを絡めたツアー等を企画・運営。

基本情報

- 所在地：愛知県田原市
- 選定表彰等：
 - ・SAVOR JAPAN認定（R4）
 - ・農商工等連携事業計画認定（R3）
 - ・第二種旅行業取得（H30）
 - ・外国人観光案内所カテゴリー I 認定（H30）
- 主力商品・イベント：
 - ・SDGsを学ぶ花育プログラム1 Dayバスツアー 等
 - ・農産物や6次化商品等の販売（道の駅）
- 活用した支援施策：
 - ・地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（R4観光庁）
 - ・地域文化財総合活用推進事業（R4文化庁）
 - ・地域の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業（R3観光庁）

取組の概要

- 平成4年に商工会、JA、漁協の出資により(株)田原観光情報サービスセンターを設立。
- 平成5年に道の駅田原めっくんはうす（農産物直売所等）の指定管理を受託。
- 平成30年に道の駅田原めっくんはうす内に加工施設「めっくんもぐもぐ工房」を新設し、地域資源を活用したオリジナル商品を開発・販売。テストキッチンとしても機能。
- 令和3年度農商工等連携事業計画認定。地域の食・食文化、農林水産業及び再生エネルギー施設等をめぐる観光ツアーや、SDGsを絡めたツアーを企画・運営。

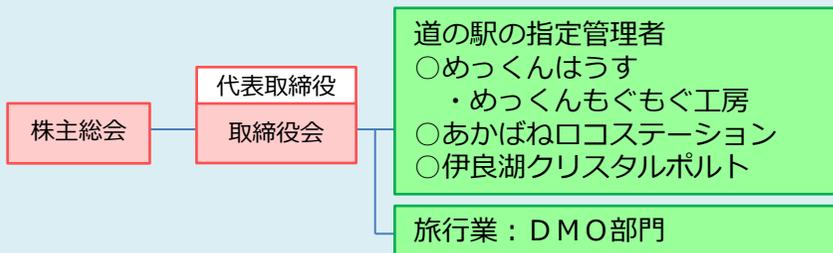


道の駅田原めっくんはうす

加工施設
「めっくんもぐもぐ工房」加工施設で商品開発した
ドレッシング

体制図

株式会社田原観光情報サービスセンター



取組の成果

- 道の駅めっくんはうすにおける農産物、6次化商品等の売上：
9.2億円（H30） → 9.6億円（R3）
- 農業者からの商品開発支援の委託受注数：
H31以降、毎年60～70品を受注
- 農業者の商品開発支援による製品の売上：
484.0万円（H31） → 1,314.1万円（R3）

ウェブサイト▶<https://tahara-michinoeki.com/>

地域資源：鶏卵

事業分野：食品、観光、イベント

事業主体：農林漁業者、観光協会、観光事業者

- 「たまごで人をしあわせに」を経営理念に、安全・安心でおいしい卵の生産に加え、卵を使用した洋菓子、農家レストラン、ベーカリー事業の展開や観光と連携した体験ツアーの実施等により、地域の関係人口の創出に貢献。

基本情報

- 所在地：愛知県常滑市
- 選定表彰：
 - ・「農林水産祭」多角化経営部門 内閣総理大臣賞 (R5)
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」優秀賞 (R5)
 - ・全国優良経営体表彰 6次産業化部門 農林水産大臣賞 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・鶏卵、パン、洋菓子
- 活用した支援施策：
 - ・6次産業化ネットワーク活動交付金 (H25)
 - ・農山漁村振興交付金 農山漁村発イノベーション等整備事業 (R4)

取組の概要

- 「たまごで人をしあわせに」を経営理念に、遺伝子組み換えでない飼料原料や地域で採れた米をエサとして使用し、市場価格より高い値段で販売。
- 平成27年に、安全・安心なたまごを通じて健康に貢献したいという思いを消費者に届けられるよう、卵を原料とした洋菓子店「ココテラス」をオープンするとともに、うみたて卵の直売事業を開始。
- 平成30年に、卵を使用したメニューを提供する農家レストラン「レシピヲ」、令和5年6月には、ベーカリー「にわのパン」を開店。
- 地元農家を巻き込んだマルシェ、常滑観光協会・名鉄観光とコラボした卵を使用した菓子作りなどの体験ツアーや、地元中学生とオリジナルの商品を開発する等、地域の魅力を発信する「たまごのテーマパーク」化を目指す。



飼料米を使用した卵



ココテラスの卵スイーツ



中学生との商品開発

体制図



取組の成果

- 売上 : 約7.4億円 (H27) → 約12.5億円 (R5)
- ココテラスの丘への来客数 : 約13万人 (H30) → 約17万人 (R4)
- 卵の付加価値額* : 41.7円/kg (H26) → 83.7円/kg (R4)
* (株)デイリーファームの平均販売価格と市場相場価格の差額
- 雇用者数 : 41人 (H26) → 120人 (R5)

ウェブサイト▶<https://dailyfarm.co.jp/>

○地域の高齢者、障がい者等が、耕作放棄地の棚田で花蓮を栽培。蓮の生花利用、加工品の開発・販売により年間を通じた作業を実現。中高生等への農業体験提供の他、自治体等との連携強化による観光客誘致等を通じ、交流人口を拡大。

基本情報

- 所在地：滋賀県長浜市
- 選定表彰：
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（蓮と里山の景観賞）（R5）
- 主力商品・イベント：
 - ・蓮の生花・加工品
 - ・農業体験
 - ・蓮の棚田（景観）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農福連携対策）（R3～）

取組の概要

- 高齢者向けの居宅介護支援事業や通所介護事業、障がい者向けの就労継続支援事業の一環として、地域の遊休棚田で蓮を栽培。
- 通年での作業を可能とするため、蓮の花びらをジャムへ、蓮の葉をパウダー化して、お茶などに加工・販売するほか、農家カフェの営業も行い、高齢者や障害者の働く場、生きがいづくりの場を提供し、所得の向上を実現。
- 中高生等へ農業体験の機会を提供するほか、複数の大学と、「地域再生」、「ソーシャルビジネス」のモデルケースとしての連携を実施。
- 地域内外や都市住民の農業体験のほか、自治体や観光協会と連携したツアーや、SNSでの情報発信による観光客誘致を通じて交流人口を拡大。



蓮の風景

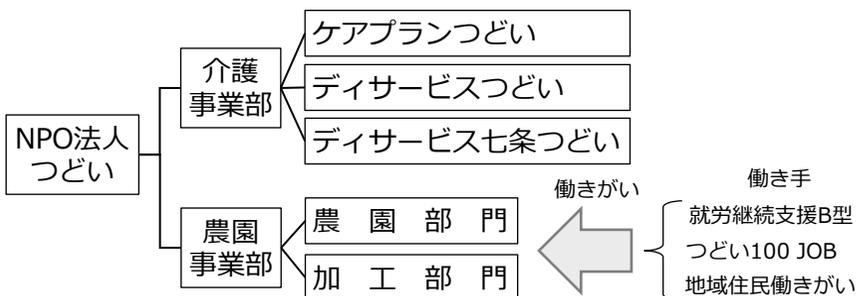


蓮の花の収穫（高校生就労体験）



左:蓮の葉茶 右:蓮ジャム

体制図



取組の成果

- 農園の売上 : 7百万円(H30) → 29百万円(R5)
- ハス園来客数 : 約200人 (H30) → 約13,000人 (R5)
- 就労体験等参加人数 : 20人(H30) → 38人(R5)
- B型作業所工賃平均 : 5,812円/月(H30) → 41,400円/月(R5)
(参考：R4年度就労継続支援 B 型全国平均工賃：17,031円/月)
- 農業に係る障がい者数 : 7人(H30) → 20人(R5)

ウェブサイト▶ <https://chitoteto.net>